

亀井たくま ニュース

発行 亀井たくま 2012年春の便り号 (通算第12号)
〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 TEL/FAX 043-255-8108 携帯090-3694-4173
ホームページは [亀井たくま](#) で検索をお願いします! メール dqg06110@nifty.com

放射能対策、自転車施策、犬・猫殺処分ゼロ対策を質問!



質問により、大きな前進が見られました!

12月市議会が11月28日~12月15日の日程で開催されました。亀井たくまは12月12日(月)に3回目の一般質問(持ち時間45分)に立ちました。毎回「緊張感ある真摯な議会」を目指し、「一問一答形式」にて、質問・提案を行っています。以下、質問・提案の内容について、抜粋してお知らせいたします。

今回の質問・提案により、いくつかの施策が実現可能となりました。今後も初心を忘れずに働いてまいります。

① 放射能対策について(環境局・教育委員会・子ども未来局)

- Q 昨年10月より市内で放射線測定が行われているが、結果についてはどうか。
- A 12月までの測定では、すべての箇所国基準の毎時1マイクロシーベルトを下回っている。
- Q 市の測定は12月で全て一巡し、中学校や子どもルームでも測定が行われているが、今後の測定についてはどのように進めていくのか。
- A 測定結果が問題のない値であることから、今後は6月から実施している各区3ヶ所ずつの定点調査を継続していく。
- Q 測定結果の公表は、市のホームページをはじめ市民センターや公民館等で掲示されているとのことだが、市政だより等を活用して、丁寧な情報提供につとめてはいかかか。
- A 調査結果の概要は1月15日付けの市政だよりに掲載する。詳しい調査結果は引き続き、公民館や市民センターなど193ヶ所で掲示を行っていく。
- Q 学校および保育所では、これまで測定結果をどのように活かしてきたのか。
- A (学校)保護者、地域の皆様の安心を考え、学校だより等で知らせている。周囲に比べて、高い測定値が出た場合は「環境整備」をあらためて行っている。
- (保育所)日頃の「環境整備」や砂場の砂の入れ替えとともに、子どもたちの手洗い・うがいの継続・励行をはかっていく。
- Q 12月から始まっている「給食」の検査についてはどのように取り組んでいるのか。
- A 学校・保育所の1週間分の給食を、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性物質を測定していく。定点測定校とともに、全ての小、中、特別支援学校、給食センター、保育所を1週間ごとに検査し、ホームページ



等で公表している。

Q これまで放射線に関する市民向けの講演会が2回行われてきたが、今後はどのように取り組んでいくのか。回数を増やすべきでないか。

A 今後も放射能医学総合研究所の協力を得て、市民の関心が高いテーマに関する講演会を開催したい。
→来年度、各区で講演会を行うことを予算案に計上。 **実現へ!**

Q 千葉県では除染にむけて、基準(毎時0.23マイクロシーベルト)を定め対応に乗り出しているが、市としては今後の取り組みはどのようなのか。

A 本市では「放射能物質汚染対処特別措置法」における汚染状況重点調査地域に該当・指定されないため、除染については「毎時1マイクロシーベルト」を目安とし、独自の基準を設けることは考えていない。

亀井はこう考える!

放射能対策は、今後も市民の皆さんへの丁寧な説明と周知が必要と考えます。各地の測定・給食の検査結果のわかりやすい公表、市民向け講演会の開催などを求めました。また、「放射線測定器の貸し出し」など、市の取り組みが進められていますので、どうぞご活用ください。亀井事務所も測定しておりますので、引き続きお気軽にご連絡ください。

② 自転車施策について (市民局・都市局)

Q 自転車側に原因がある交通事故も多いとされているが、交通ルールを遵守させる対策はどのようなものか。

A 市民向けに「5つの自転車安全利用ルール」の周知・啓発、小中学生を対象に「交通安全教室」を開催している。今後は高校生を対象として、交通事故の再現を取り入れた「交通安全教室」など、年齢層に応じて交通安全教育の充実をはかっていく。

Q マナーの悪い自転車利用に市民から苦情も来ている。自転車の安全利用にむけて、警察等の関係機関との連携が図られているところだと思うが、他の自治体の動向等を踏まえ、今後どのように連携・協力していくのか。

A 自転車の安全利用にむけ、首都圏9都県市で連携して検討会を立ち上げ、一体で取り組みを進めていく。警察との緊密な連携もはかっていく。

Q 10月に発表された警察庁通達では、「自転車は車両」として、車道に自転車の走行空間を整備し、自転車と歩行者の分離を進めていくこととしているが、この通達を受け、市として今後どのように道路整備を行っていくのか。

A 通達を踏まえ、自転車レーンを基本とした走行空間の整備に努めていく。既存の道路についても道路改良にあわせて整備を進めていく。

亀井はこう考える!

自転車のマナー悪化が問題視されています。昨今では、歩行中の高齢者との衝突死亡事故も起きています。市内でも事故が増加傾向にあり、イヤホンや携帯電話を使用しながらの危険運転がたいへん心配です。マナー対策、子どもへの安全対策、自転車レーンをはじめ安全な走行環境のあり方について質問しました。

③ 動物愛護について ~犬・猫 殺処分ゼロ対策を~ (保健福祉局・教育委員会)

Q 犬・猫の殺処分は、現在どのような形で行われているのか。

A 以前は炭酸ガスを使用していたが、現在は麻酔薬の注射を行っている。

Q 千葉県でも、殺処分数を減らすための行動が取り組まれているが、本市でも殺処分数を減らすための目標設定はあるのか。



A 処分数を減らすには、引き取り数を減らすことが重要であるので、平成29年度までに引き取り数を半減させることを目標にしている。

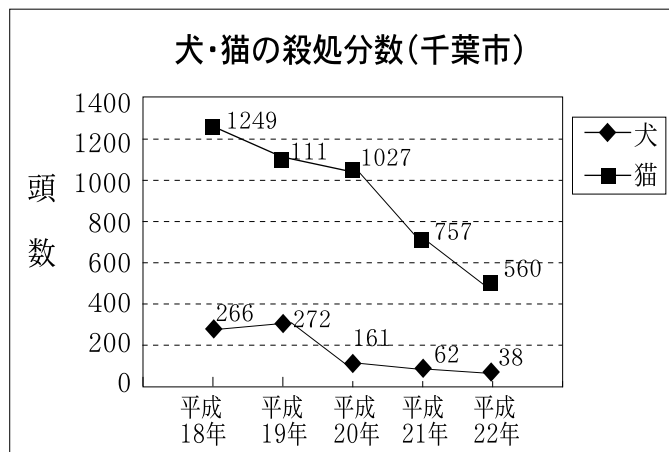
Q 熊本市では安易な引取りをせずに、殺処分数を限りなくゼロにすることを実現している。本市での窓口での取り組みはどのようになっているか。

A 飼い主から引き取る際には、職員が面談・説得を行い、安易に引き取らない取り組みを進めている。

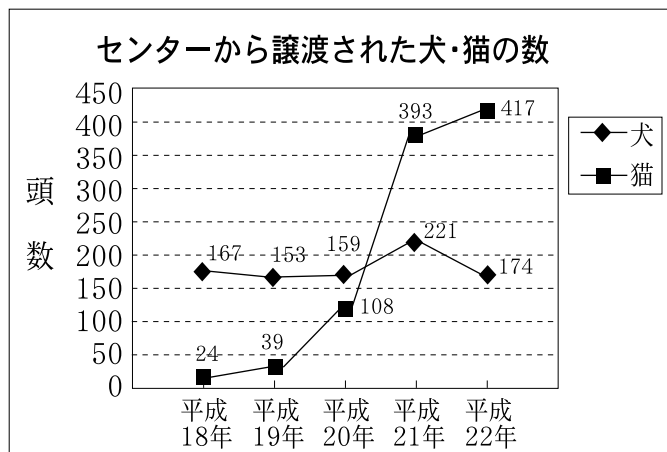
Q 千葉県では、犬・猫を持ち込んできた市民から徴収する「引き取り手数料」を大人の犬・猫は2000円から3000円に、子どもの犬・猫は400円から600円にそれぞれ値上げしている。千葉市でも引き取り手数料の値上げをすべきと思うが、どのように考えるか。

A 飼い主からの安易な引取りを抑制する効果があると考えられるので、検討してまいりたい。

→来年度、実現化にむけて、予算案に示されました。 **実現へ!**



[殺処分数は減少傾向です。あと一歩です!]



[ボランティア団体などの協力で譲渡も増えています。]

Q 学校現場で、動物保護指導センターを見学したり、こうした犬・猫の問題を題材として「いのちの授業」に取り組み、「いのちの尊さ」を子どもたちに教えることを検討してはどうか。

A 動物保護指導センターの職員が授業のゲストティーチャーを務め、身近な動物を大切にする心情をはぐくむ教育を行っている学校があるので、今後、その実践例を全市的に広めていく。

Q センターに収容された犬・猫の市民への「譲渡」が行われていることを知らせるとともに、譲渡が行われやすいように収容された犬・猫の画像を載せるなど、ホームページ・市政だより等の改善を求めるが、どう考えるか。

A 今後、市民に分かりやすいものになるように工夫してまいりたい。

実現!

→「動物保護指導センター」のホームページがとてもわかりやすいものに改善されました!

Q いわゆる「地域猫」を目指して、野良猫の不妊手術が進められているが、現状と今後について伺う。事業の拡大を求めるがいかがか。

A 飼い主のいない猫の繁殖を防止するため、獣医師会の協力を得て、事業を行っている。すでに200匹近い猫の不妊手術を行っている。今後、事業の拡充について検討してまいりたい。

→来年度予算案で250匹から300匹に拡充が検討されることになりました! **実現へ!**

Q 本市も熊本市のように「殺処分ゼロ」を達成し、「人にも動物にもやさしい自治体」を目指していくべきと思うが、今後の取り組み・決意は。

A 不妊手術事業や譲渡事業の推進、しつけ・飼い方教室など、さまざまな機会を利用して、適正飼養と動物愛護の啓発を図り、できるかぎり殺処分数の削減に努め、人と動物が共生できる住みよいまちづくりを推進していく。

亀井はこう考える!

全国では年間に殺処分される犬・猫が23万匹もいます。千葉県もかつて殺処分ワースト県でした。千葉市では、センターと愛護ボランティア等との連携により、殺処分数は着実に減少しています。もう少しの頑張りで「殺処分ゼロ」を実現できます。不幸な犬・猫が減ることは、「動物が好きな人」だけでなく、「動物が嫌いな人」のためにもなります。今回、質問・提案をした結果、いくつかの事項で改善をいただきました。1匹でも不幸な動物を減らし、「人にも動物にもやさしい千葉市」に向けて、市民の皆様のご協力もどうかよろしくお願いたします!

収容された犬・猫の新しい飼い主さんになっただけませんか！



「千葉市動物保護指導センター」では、迷い犬・迷い猫が収容され、保護を受けています。こうした犬・猫が新しい飼い主さんを待っています。新しい飼い主さんが現れることで「救われる命」があります。市民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

交通手段がない方などは、亀井が同行します。亀井までお気軽にご連絡ください。センターのホームページに譲渡可能なワンちゃん、ネコちゃんの紹介があります。また、「しつけ・飼い方教室」などの情報もあります。ぜひご覧ください。

お問い合わせは「市動物保護指導センター」

043-258-7817 (千葉市稲毛区宮野木町445-1)

ホームページは [千葉市動物保護指導センター](#) で検索をお願いいたします。

市政へのご意見は。

TEL/FAX 043-255-8108 携帯電話 090-3694-4173
(事務員もおらず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。
携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします！)

メール dqg06110@nifty.com お手紙も大歓迎です！



亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。31歳。作草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。千葉市体育指導委員。院内小社会体育振興会委員、椿森中青少年育成会委員。ホームヘルパー2級。4年前の市議選は21票差で落選。今回、5622票を頂戴し当選。

趣味は昭和時代の懐メロです。(懐メロ談義しませんか！)好きな歌手は灰田勝彦です。

※市議会では、現在「教育未来委員会委員」「大都市行財政制度調査特別委員会委員」「都市計画審議会委員」を任命されています。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします！

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎！)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みくださいますと、ありがとうございました！